

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成28年11月11日
【四半期会計期間】	第4期第2四半期（自平成28年7月1日至平成28年9月30日）
【会社名】	株式会社UACJ
【英訳名】	UACJ Corporation
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 岡田 満
【本店の所在の場所】	東京都千代田区大手町一丁目7番2号
【電話番号】	(03) 6202 - 2600（大代表）
【事務連絡者氏名】	経理部長 飯田 晴央
【最寄りの連絡場所】	東京都千代田区大手町一丁目7番2号
【電話番号】	(03) 6202 - 2641
【事務連絡者氏名】	経理部長 飯田 晴央
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第3期 第2四半期 連結累計期間	第4期 第2四半期 連結累計期間	第3期
会計期間	自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日	自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日	自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日
売上高 (百万円)	291,383	278,863	575,735
経常利益 (百万円)	7,323	7,389	12,010
親会社株主に帰属する四半期 (当期)純利益 (百万円)	4,331	2,166	5,105
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	4,148	13,552	5,106
純資産額 (百万円)	189,130	163,561	178,582
総資産額 (百万円)	675,921	639,966	662,543
1株当たり四半期(当期)純利 益金額 (円)	10.12	5.07	11.94
潜在株式調整後1株当たり四半 期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	25.9	23.6	24.9
営業活動によるキャッシュ・フ ロー (百万円)	8,048	21,634	22,511
投資活動によるキャッシュ・フ ロー (百万円)	18,627	37,593	34,759
財務活動によるキャッシュ・フ ロー (百万円)	4,417	13,038	11,176
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高 (百万円)	14,917	15,736	18,814

回次	第3期 第2四半期 連結会計期間	第4期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成27年7月1日 至 平成27年9月30日	自 平成28年7月1日 至 平成28年9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	4.69	1.82

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社の異動は以下のとおりであります。

（アルミ圧延品事業）

第1四半期連結会計期間まで非連結子会社であったUACJ ELVAL HEAT EXCHANGER MATERIALS GmbHは重要性が増したため、当第2四半期連結会計期間から新たに連結の範囲に含めております。

なお、持分法適用関連会社である乳源東陽光精箔有限公司は、平成28年5月に乳源東陽光優艾希杰精箔有限公司に、持分法適用関連会社であるQuiver Ventures LLCは、平成28年6月にConstellium-UACJ ABS LLCに、それぞれ社名変更しております。

（伸銅品事業）

主要な関係会社における異動はありません。

（加工品・関連事業）

前連結会計年度まで連結子会社であった株式会社UACJ金属加工は、平成28年4月1日付で、当社が吸収合併しております。

連結子会社である株式会社ナルコ岩井は、平成28年4月1日付で、連結子会社である株式会社ニッケイ加工及び株式会社ナルコ恵那を吸収合併し、同日付で株式会社UACJ金属加工に社名変更しております。

連結子会社であるIWAI METAL (AMERICA) CO.,LTD.は、平成28年4月1日付で、連結子会社であるPennTecQ, Inc.を吸収合併し、同日付でUACJ Metal Components North America Inc.に社名変更しております。

前連結会計年度まで非連結子会社であったUACJ North America Inc.は重要性が増したため、第1四半期連結会計期間から新たに連結の範囲に含めております。

平成28年4月に、UACJ Automotive Whitehall Industries, Inc.を設立し、同社を通じてSRS Industries, LLCの全持分を取得したため、両社及びSRS Industries, LLCのグループ会社4社を第1四半期連結会計期間から新たに連結の範囲に含めております。

なお、UACJ Automotive Whitehall Industries, Inc.は、平成28年6月に、SRS Industries, LLCを吸収合併しております。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 経営成績の分析

当第2四半期連結累計期間の世界経済は、米国や欧州においては緩やかな景気回復が持続しました。中国においては景気が緩やかに減速しております。新興国においては各国ばらつきがありますが、全体としては回復基調であります。

我が国経済は、雇用は底堅いものの個人消費が弱含みであり、更に円高等によるインバウンド需要の鈍化や天候不順もあり、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

このような環境のもと、当社グループの業績については、前年同期比での地金価格下落の影響を受け、売上高は278,863百万円（前年同期比4.3%減）となりました。損益については、地金価格下落に伴う棚卸評価関係の悪化等の影響があるものの、売上数量の増加やコストダウン等により、営業利益は10,394百万円（同16.9%増）となりました。経常利益については、米国の自動車パネル用アルミニウム材製造・販売事業の立ち上げコストの増加に伴う持分法投資損益の悪化や、戦略投資先行に伴う利息負担の増加等により、7,389百万円（同0.9%増）に留まりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益については、特別利益として受取保険金を計上した前期を下回り、2,166百万円（同50.0%減）となりました。

セグメント別の状況については、以下のとおりであります。

アルミ圧延品事業

アルミニウム圧延品業界の国内需要については、板類では、好調なボトル缶需要を背景に飲料缶用需要が堅調な推移を見せました。また、自動車分野においてもアルミ外板を採用した人気車種のモデルチェンジに伴う需要増が継続したことにより、板類全体で対前年プラスとなりました。押出類に関しては、トラック・バス関連需要が引き続き好調であり、全体をけん引する形で、内需総量も対前年微増の結果となりました。

当社グループの国内向売上数量は、上記全体需要とほぼ同様の傾向であり、板押出ともに前年を超える結果となりました。グループ全体での飲料用缶材については、タイ王国の板圧延工場（UACJ (THAILAND) CO.,LTD.）での一貫生産が本格化したことにより、米国（Tri-Arrows Aluminum Inc.）を含む世界三極での合計数量は大幅に増加いたしました。また自動車分野に関しても、国内パネル需要の増加と、UACJ (THAILAND) CO.,LTD.での自動車用熱交換器材の量産開始により対前年大きく増加となりました。

このような販売状況であったものの、前年同期比での地金価格下落の影響を受け、当第2四半期連結累計期間のアルミ圧延品事業の売上高は、222,853百万円（前年同期比4.3%減）となりました。営業利益については、地金価格下落に伴う棚卸評価関係による悪化等があったものの、売上数量の増加やコストダウン等により、11,902百万円（同14.3%増）となりました。

伸銅品事業

主要な用途であるエアコンの出荷台数が前半までは猛暑予想の影響で前年を上回る出荷であったこともあり、当社グループの銅管の販売量は伸長しました。一方で銅地金価格は大幅に下落しており、当第2四半期連結累計期間の伸銅品事業の売上高は21,671百万円（前年同期比11.2%減）となりました。また、大幅な地金価格下落に伴う棚卸評価関係の悪化の影響等により、営業利益は37百万円（同90.3%減）となりました。

加工品・関連事業

主要顧客の需要減退等により、当第2四半期連結累計期間の売上高は79,363百万円（前年同期比4.8%減）、営業利益は1,487百万円（同18.6%減）となりました。

(2) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加があったものの、円高による為替換算調整勘定の減少等により、前連結会計年度末と比べて15,021百万円減少し、163,561百万円となりました。

総資産については、米国の自動車用アルミニウム構造材・各種部品等の製造販売会社の持分を取得し、新たに連結子会社にしたことによる増加があるものの、為替換算による影響等により、前連結会計年度末と比べて22,577百万円減少し、639,966百万円となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末より3,078百万円減少し、15,736百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、税金等調整前四半期純利益が減少したものの売上債権が増加から減少に転じたこと等により、前年同期比13,587百万円（前年同期比168.8%）増加し21,634百万円となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、米国の自動車用アルミニウム構造材・各種部品等の製造販売会社の持分取得や関係会社出資金の取得等により、前年同期比18,966百万円（同101.8%）増加の37,593百万円となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は、設備投資や関係会社出資金の取得等の投資活動に必要な資金調達を実施したこと等から、前年同期比8,620百万円（同195.2%）増加の13,038百万円となりました。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間における当社グループ全体の研究開発活動に要した金額は2,324百万円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	1,700,000,000
計	1,700,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成28年9月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成28年11月11日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	428,281,934	428,281,934	東京証券取引所第一部	単元株式数 1,000株
計	428,281,934	428,281,934	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成28年7月1日～ 平成28年9月30日	-	428,281,934	-	45,000	-	40,677

(6) 【大株主の状況】

平成28年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
古河電気工業株式会社	東京都千代田区丸の内2丁目2-3	120,365	28.10
新日鐵住金株式会社	東京都千代田区丸の内2丁目6-1	37,446	8.74
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	東京都中央区晴海1丁目8-11	31,151	7.27
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	東京都港区浜松町2丁目11-3	18,462	4.31
住友商事株式会社	東京都中央区晴海1丁目8-11	7,500	1.75
株式会社みずほ銀行	東京都千代田区大手町1丁目5-5	7,331	1.71
株式会社三井住友銀行	東京都千代田区丸の内1丁目1-2	7,330	1.71
UACJグループ従業員持株会	東京都千代田区大手町1丁目7-2	6,763	1.57
JP MORGAN CHASE BANK 380634 (常任代理人 株式会社みずほ銀行)	25 BANK STREET, CANARY WHARF, LONDON, E14 5JP, UNITED KINGDOM (東京都港区港南2丁目15-1)	5,721	1.33
UACJ共栄会	東京都千代田区大手町1丁目7-2	4,858	1.13
計	-	246,929	57.65

(注) 1. 所有株式数は千株未満を切捨表示しております。

2. 発行済株式総数に対する所有株式の割合は小数点以下第3位を切捨表示しております。

3. 平成28年9月23日付で公衆の縦覧に供されている大量保有報告書において、三井住友信託銀行株式会社及びその共同保有者である三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社、日興アセットマネジメント株式会社が平成28年9月15日現在でそれぞれ以下の株式を所有している旨が記載されているものの、当社として当第2四半期会計期間末現在における実質所有株式数の確認ができませんので、上記大株主の状況には含めておりません。

なお、その大量保有報告書の内容は次のとおりであります。

氏名又は名称	住所	保有株券等の数 (株)	株券等保有割合 (%)
三井住友信託銀行株式会社	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号	株式 20,350,444	4.75
三井住友トラスト・アセット マネジメント株式会社	東京都港区芝三丁目33番1号	株式 848,000	0.20
日興アセットマネジメント株式 会社	東京都港区赤坂九丁目7番1号	株式 1,494,000	0.35

(7) 【議決権の状況】
【発行済株式】

平成28年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 639,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 419,051,000	419,051	-
単元未満株式	普通株式 8,591,934	-	-
発行済株式総数	428,281,934	-	-
総株主の議決権	-	419,051	-

(注) 1. 「完全議決権株式(その他)」欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式が1,000株(議決権1個)含まれております。

2. 「単元未満株式」の欄には当社保有の自己株式が963株含まれています。

【自己株式等】

平成28年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 割合(%)
(自己保有株式) 株式会社UACJ	東京都千代田区 大手町1丁目7-2	639,000	-	639,000	0.15
計	-	639,000	-	639,000	0.15

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成28年7月1日から平成28年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成28年4月1日から平成28年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,934	15,839
受取手形及び売掛金	115,103	108,031
商品及び製品	30,780	25,301
仕掛品	47,617	42,145
原材料及び貯蔵品	30,875	33,440
その他	20,120	18,712
貸倒引当金	20	23
流動資産合計	263,409	243,445
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	63,566	60,130
機械装置及び運搬具(純額)	93,100	89,792
土地	115,150	114,672
その他(純額)	21,088	22,055
有形固定資産合計	292,904	286,649
無形固定資産		
のれん	43,232	50,023
その他	17,580	16,110
無形固定資産合計	60,812	66,133
投資その他の資産		
投資有価証券	29,363	26,575
その他	16,136	17,277
貸倒引当金	81	112
投資その他の資産合計	45,419	43,740
固定資産合計	399,135	396,522
資産合計	662,543	639,966

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	99,090	93,025
短期借入金	63,921	52,435
1年内償還予定の社債	2,500	2,500
1年内返済予定の長期借入金	47,714	40,483
未払法人税等	1,508	2,563
その他	35,052	24,748
流動負債合計	249,784	215,755
固定負債		
社債	5,000	3,750
長期借入金	169,871	193,109
事業構造改善引当金	1,043	951
退職給付に係る負債	18,814	18,711
その他	39,449	44,130
固定負債合計	234,177	260,651
負債合計	483,961	476,406
純資産の部		
株主資本		
資本金	45,000	45,000
資本剰余金	73,041	73,041
利益剰余金	36,103	36,986
自己株式	214	222
株主資本合計	153,931	154,805
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,184	1,416
繰延ヘッジ損益	1,003	1,099
為替換算調整勘定	9,649	5,055
退職給付に係る調整累計額	1,270	1,085
その他の包括利益累計額合計	11,100	3,654
非支配株主持分	13,552	12,409
純資産合計	178,582	163,561
負債純資産合計	662,543	639,966

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	291,383	278,863
売上原価	257,115	242,923
売上総利益	34,267	35,940
販売費及び一般管理費	25,376	25,547
営業利益	8,891	10,394
営業外収益		
受取利息	81	366
受取配当金	230	321
その他	912	629
営業外収益合計	1,223	1,315
営業外費用		
支払利息	1,677	2,058
為替差損	315	913
その他	798	1,349
営業外費用合計	2,790	4,320
経常利益	7,323	7,389
特別利益		
固定資産売却益	69	109
受取保険金	1,219	-
その他	18	11
特別利益合計	1,306	119
特別損失		
固定資産除却損	264	399
減損損失	-	321
その他	12	271
特別損失合計	275	992
税金等調整前四半期純利益	8,354	6,516
法人税、住民税及び事業税	1,397	3,720
法人税等調整額	2,358	193
法人税等合計	3,754	3,913
四半期純利益	4,600	2,603
非支配株主に帰属する四半期純利益	269	437
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,331	2,166

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	4,600	2,603
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	539	230
繰延ヘッジ損益	1,020	241
為替換算調整勘定	1,047	13,899
退職給付に係る調整額	1,828	361
持分法適用会社に対する持分相当額	327	2,367
その他の包括利益合計	452	16,155
四半期包括利益	4,148	13,552
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,863	12,587
非支配株主に係る四半期包括利益	285	965

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	8,354	6,516
減価償却費	11,200	11,480
のれん償却額	1,264	1,432
受取利息及び受取配当金	311	687
支払利息	1,677	2,058
受取保険金	1,219	-
売上債権の増減額(は増加)	7,499	7,093
たな卸資産の増減額(は増加)	1,957	5,468
仕入債務の増減額(は減少)	2,204	5,412
その他	283	3,405
小計	9,588	24,543
利息及び配当金の受取額	642	1,129
利息の支払額	1,654	2,117
法人税等の支払額	1,746	1,920
保険金の受取額	1,219	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,048	21,634
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	16,471	16,257
無形固定資産の取得による支出	646	693
連結の範囲の変更を伴う子会社出資持分の取得による支出	-	14,494
関係会社出資金の取得による支出	-	5,009
その他	1,510	1,141
投資活動によるキャッシュ・フロー	18,627	37,593
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	27,553	10,041
コマーシャル・ペーパーの純増減額(は減少)	6,000	-
長期借入れによる収入	51,021	48,473
長期借入金の返済による支出	27,739	29,689
社債の償還による支出	1,299	1,250
配当金の支払額	1,283	1,283
非支配株主への配当金の支払額	213	195
セール・アンド・リースバックによる収入	15,522	501
セール・アンド・割賦バックによる収入	4,527	8,985
リース債務の返済による支出	1,913	2,479
その他	652	16
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,417	13,038
現金及び現金同等物に係る換算差額	130	189
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	6,032	3,111
現金及び現金同等物の期首残高	20,949	18,814
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(は減少)	-	33
現金及び現金同等物の四半期末残高	14,917	15,736

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(1) 連結の範囲の重要な変更

前連結会計年度まで連結子会社であった株式会社UACJ金属加工は、平成28年4月1日付で、当社が吸収合併しております。

連結子会社である株式会社ナルコ岩井は、平成28年4月1日付で、連結子会社である株式会社ニッケイ加工及び株式会社ナルコ恵那を吸収合併し、同日付で株式会社UACJ金属加工に社名変更しております。

連結子会社であるIwai Metal (America) Co., Ltd.は、平成28年4月1日付で、連結子会社であるPennTecQ, Inc.を吸収合併し、同日付でUACJ Metal Components North America Inc.に社名変更しております。

前連結会計年度まで非連結子会社であったUACJ North America Inc.は重要性が増したため、第1四半期連結会計期間から新たに連結の範囲に含めております。

平成28年4月に、UACJ Automotive Whitehall Industries, Inc.を設立し、同社を通じてSRS Industries, LLCの全持分を取得したため、両社及びSRS Industries, LLCのグループ会社4社を第1四半期連結会計期間から新たに連結の範囲に含めております。

なお、UACJ Automotive Whitehall Industries, Inc.は、平成28年6月に、SRS Industries, LLCを吸収合併しております。

第1四半期連結会計期間まで非連結子会社であったUACJ ELVAL HEAT EXCHANGER MATERIALS GmbHは重要性が増したため、当第2四半期連結会計期間から新たに連結の範囲に含めております。

(2) 持分法適用の範囲の重要な変更

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

一部の国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更による当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(四半期連結貸借対照表関係)

1 保証債務

次の関係会社等について、金融機関等からの借入等に対し債務保証を行っております。

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)		当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
Quiver Ventures LLC	1,201百万円	日全綜(無錫)材加工有限公司	305百万円
NALCO (THAILAND) CO.,LTD.	346	従業員(住宅財形借入金)	261
日全綜(無錫)材加工有限公司	326	Constellium-UACJ ABS LLC	208
従業員(住宅財形借入金)	306	IWAI METAL CENTRAL MEXICO, S.A.	202
IWAI METAL CENTRAL MEXICO, S.A.	225	DE C.V.	198
DE C.V.	53	NALCO (THAILAND) CO.,LTD.	42
富士発條(株)	23	富士発條(株)	20
PT.YAN JIN INDONESIA		PT.YAN JIN INDONESIA	
計	2,480		1,236

(注) Quiver Ventures LLCは、平成28年6月にConstellium-UACJ ABS LLCへ社名変更しております。

2 手形債権流動化に伴う買戻義務限度額

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
手形債権流動化に伴う買戻義務限度額	1,580百万円	1,618百万円

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
荷造費及び運送費	7,082百万円	7,337百万円
給与諸手当福利費	7,388	7,463
退職給付費用	285	269

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
現金及び預金勘定	15,042百万円	15,839百万円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	125百万円	103百万円
現金及び現金同等物	14,917百万円	15,736百万円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成27年6月26日 定時株主総会	普通株式	1,283	3.00	平成27年3月31日	平成27年6月29日	利益剰余金

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の
末日後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成27年11月4日 取締役会	普通株式	1,283	3.00	平成27年9月30日	平成27年12月2日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成28年6月29日 定時株主総会	普通株式	1,283	3.00	平成28年3月31日	平成28年6月30日	利益剰余金

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の
末日後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成28年11月2日 取締役会	普通株式	1,283	3.00	平成28年9月30日	平成28年12月1日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	アルミ圧延品 事業	伸銅品事業	加工品・関連 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	204,167	18,545	68,671	291,383	-	291,383
セグメント間の内部売上高又は振替高	28,648	5,870	14,656	49,174	49,174	-
計	232,814	24,415	83,327	340,556	49,174	291,383
セグメント利益	10,418	386	1,828	12,633	3,742	8,891

(注)1. セグメント利益の調整額 3,742百万円には、たな卸資産の調整額 101百万円、セグメント間取引消去 169百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用 3,472百万円が含まれております。

全社費用は、報告セグメントに帰属しない親会社の一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	アルミ圧延品 事業	伸銅品事業	加工品・関連 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	197,563	15,796	65,504	278,863	-	278,863
セグメント間の内部売上高又は振替高	25,289	5,875	13,859	45,024	45,024	-
計	222,853	21,671	79,363	323,887	45,024	278,863
セグメント利益	11,902	37	1,487	13,427	3,034	10,394

(注)1. セグメント利益の調整額 3,034百万円には、たな卸資産の調整額64百万円、セグメント間取引消去 156百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用 2,942百万円が含まれております。

全社費用は、報告セグメントに帰属しない親会社の一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	10.12円	5.07円
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額(百万円)	4,331	2,166
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益金額(百万円)	4,331	2,166
普通株式の期中平均株式数(千株)	427,746	427,658

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【その他】

第4期(平成28年4月1日から平成29年3月31日)中間配当については、平成28年11月2日開催の取締役会において、平成28年9月30日の株主名簿に記録された株主に対して、次のとおり中間配当を行うことを決議いたしました。

配当金の総額	1,283百万円
1株当たりの金額	3円00銭
支払請求権の効力発生日及び支払開始日	平成28年12月1日

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成28年11月11日

株式会社 U A C J
取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 手塚 正彦 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 岩下 万樹 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 池田 太洋 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社UACJの平成28年4月1日から平成29年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成28年7月1日から平成28年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成28年4月1日から平成28年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社UACJ及び連結子会社の平成28年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

-
- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。